

週間漁海況情報—第11号

平成24年3月19日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

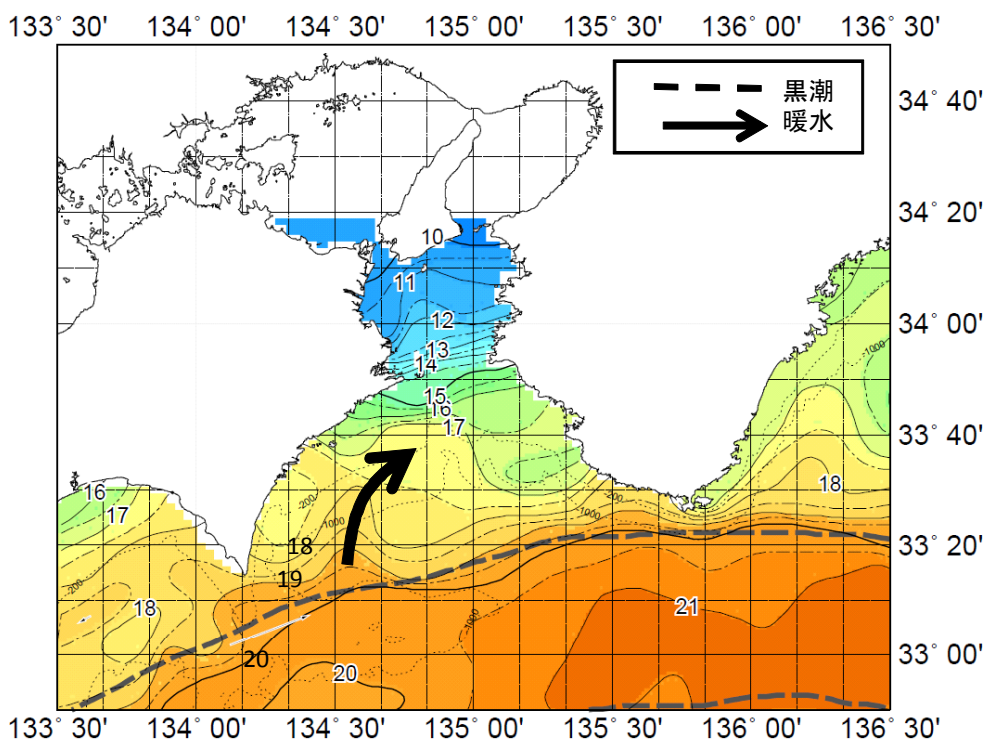
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.3.19）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、18～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9℃台、紀伊水道で9～14℃台、海部沿岸で13～18℃台である。

紀伊水道外域では、室戸岬東方海域から北東方向に暖水流入がある。

海部沿岸では、17℃以下の内海系水に覆われている。



漁業調査船「とくしま」で3月7、12、13日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層から30m層で「やや高め」の12.1～14.6℃であった。

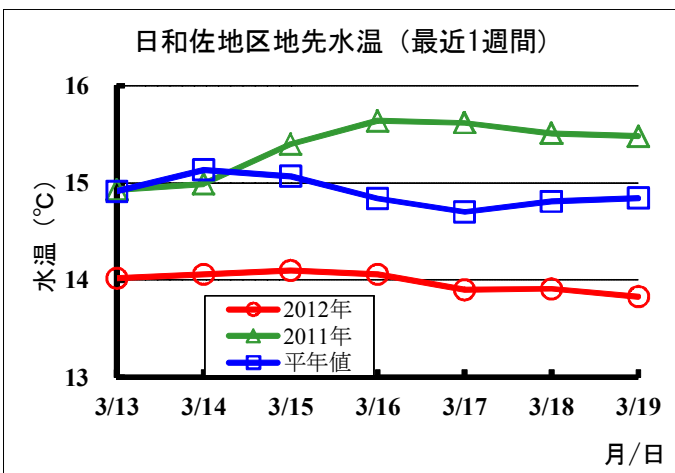
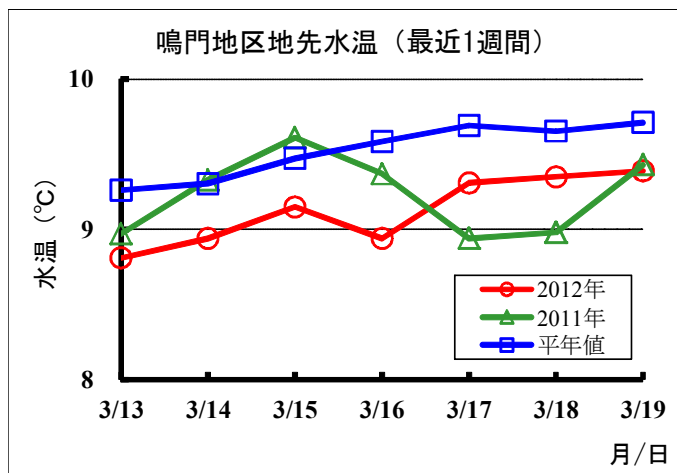
紀伊水道海区観測結果

観測日		水温					塩分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
3/7, 12, 13	今年値	12.1	12.3	13.0	13.9	14.6	32.9	33.1	33.4	33.7	34.0
	平年偏差	0.5	0.7	0.8	1.4	1.3	-0.4	-0.3	-0.3	-0.1	0.0
	前年偏差	0.5	0.6	0.8	2.0	2.4	-0.5	-0.4	-0.3	0.1	0.3

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の8.8～9.4℃、日和佐地区で「やや低め」の13.8～14.1℃、牟岐地区は「低め」～「平年並み」の13.2～14.7℃で推移した（図は次ページに掲載）。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にキダイが0.4トン（1日1隻当たり22kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸でブリが0.5トン（同13kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、いわし類が0.3トン（同254kg）、マイワシが0.3トン（同25kg）、カタクチイワシが1.8トン（同35kg）、アオリイカが0.3トン（同4kg）、水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、中主体にイシダイが0.8トン（同55kg）、いわし類が1.9トン（同124kg）、クロマグロが0.4トン（同26kg）、ブリが4.0トン（同265kg）、小小主体にマアジが0.3トン（同20kg）、小主体にマサバが1.3トン（同87kg）、マルソウダが0.4トン（同28kg）、メジロが1.9トン（同129kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.2トン（同7kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でイカナゴが0.7トン（同25kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 3月12日～3月18日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	18	393	22	大主体
建網		ブリ	41	515	13	
小型定置網		いわし類	1	254	254	
		マイワシ	12	296	25	
		カタクチイワシ	52	1,822	35	
		アオリイカ	69	276	4	
大型定置網		イシダイ	15	823	55	中主体
		いわし類	15	1,866	124	
		クロマグロ	15	393	26	
		ブリ	15	3,977	265	
		マアジ	15	302	20	小小主体
		マサバ	15	1,300	87	小主体
		マルソウダ	15	424	28	
			メジロ	15	1,940	129
釣り		アオリイカ	37	243	7	大主体
パッチ網	紀伊水道	イカナゴ	26	650	25	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」～「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。海部沿岸では、引き続き内海系水が南下するが、一時的に暖水が波及しそう。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」～「平年並み」の9～10℃台、日和佐地先は「やや低め」の13～14℃台で推移する見込み。